

DEMO9S08QG8 クイック・スタート・ガイド

導入とジャンパの設定

本ガイドでは、ボードと PC の接続、LED テスト・プログラムの実行、および CodeWarrior Development Studio の適切なバージョンのインストールについて説明します。DEMO_S08QG8_Test (LED テスト) のソース・コードは Axiom CD の Examples フォルダに入っています。DEMO9S08QG8 デモ・ボードのジャンパ設定を下図に示します。

黒い部分が各ジャンパの設定する位置です。作業に入る前に、これらの設定を確認してください。

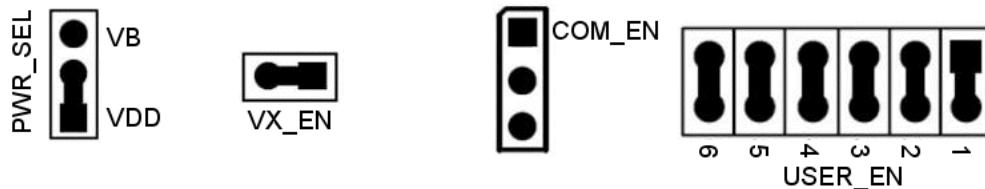


図 1. DEMO9S08QG8 のジャンパの設定

CodeWarrior Development Studio for HC(S)08 Version 5.0 と QG サポート用サービス・パックのインストール

まだ CodeWarrior for HC(S)08 Special Editio を PC にインストールしていない場合は、CodeWarrior Development Studio の DVD ケースに記載されているクイック・スタート・ガイドの手順に従ってください。Version 3.1 を使用の場合は、QG サポート用サービス・パックをインストールしてください。

DEMO908QG8_Test プログラムの実行

DEMO9S08QG8 は、オンチップ・フラッシュ・メモリに DEMO_S08QG8_Test プログラムが格納された状態で出荷されています。このプログラムのソース・コードは、Axiom CD の DEMO_S08QG8_Test.zip (Examples フォルダ) に入っています。

1. ジャンパの設定を確認します (図 1 参照)。
2. PWR のコネクタに +7V ~ +18V の電源プラグ (センタープラス) を接続します。VDD の LED が点灯します。^{*1}
3. USB ケーブルを PC へ接続し、次にボードへ接続してください。このボードを初めて使用する場合は、PC 画面に表示される指示に従って USB デバイスを正しくインストールしてください (CodeWarrior v5.0 あるいはサービス・パックをインストールしていないと、このデモ・ボードを認識するのに必要なファイルがありませんので注意してください)。
4. ドライバが正しくインストールされると、USB、USB PWR OUT の LED が点灯します。
5. SW1 を押すことによって、LED1 の点灯 / 消灯が切り替わります。
6. LED2 が速く点滅します。

1. PWR_SEL の設定により、USB のバス・パワーをボードの電源として使うことは可能です。しかし、PC によっては十分な電源が取れず、正常に動作しない場合があります。

USB BDM による DEMO9S08QG8_APP プログラムのインストール

USB-MON08 を使用すると、マイクロコントローラのフラッシュのプログラミングや、USB 経由でのアプリケーションのデバッグが行うことができます。

1. Axiom CD (Examples フォルダ) から、DEMO9S08QG8_APP.zip ファイルを PC の作業フォルダにコピーして解凍します。注意：ファイルをコピーするだけでなく、必ず解凍してください。
2. CodeWarrior HC(S)08 を起動して、DEMO9S08QG8_APP.mcp プロジェクト・ファイルを開きます。
3. Source フォルダの DEMO9S08QG8_APP.c をダブル・クリックして開きます。これが DEMO9S08QG8_APP のソースコードです。
4. ジャンパが図 1 のとおり設定されていることを確認します。
5. まだ USB ケーブルを接続していない場合は接続します。USB、USB PWR OUT の LED が点灯します。
6. メニュー・バーから [Project]、[Debug] の順に選択するか、F5 キーを押してください。True-Time Simulator & Real-Time Debugger インタフェース・ウインドウが表示されます。表示される指示に従って、フラッシュをプログラミングしてください。CodeWarrior HC(S)08 v5.0 を使用の場合、[Convert Projects] 画面が表示されることがあります。その際は [Cancel] してください。
7. CodeWarrior HC(S)08 v3.1 の場合、ICD Connection Assistant が表示されたら、[Reset and Stop MCU...] ボタンをクリックして、表示される指示に従います。CodeWarrior HC(S)08 v5.0 の場合、ICD Connection Manager が表示されたら、[Connect] ボタンをクリックして表示される指示に従います。
8. Erace and Program Flash? というメッセージが表示されたら、[Yes] ボタンをクリックします。
9. フラッシュのプログラミングが終了すると、[CPROG08SZ Programmer] ウインドウが閉じます。これで DEMO9S08QG8_APP コードを実行する準備が整いました。このコードの使い方については、DEMO9S08QG8_APP サンプル・アプリケーション・ユーザ・ガイドを参照してください。(www.freescale.co.jp/doc からダウンロードできます。)

トラブルシューティング

VDD LED が点灯しない

- PWR_SEL ジャンパが VDD 位置にあることを確認してください。
- CodeWarrior HC(S)08 v3.1 を使用の場合、QG8 サポート用のサービス・パックをインストールしてください。

オン・ボードの USB-BDM を使用してパーツのプログラミングができない

- PWR_SEL ジャンパが VDD 位置にあることを確認してください。
- CodeWarrior HC(S)08 v3.1 を使用の場合、QG8 サポート用のサービス・パックをインストールしてください。

How to Reach Us:

Home Page:

www.freescale.com

E-mail:

support@freescale.com

USA/Europe or Locations Not Listed:

Freescale Semiconductor
Technical Information Center, CH370
1300 N. Alma School Road
Chandler, Arizona 85224
+1-800-521-6274 or +1-480-768-2130
support@freescale.com

Europe, Middle East, and Africa:

Freescale Halbleiter Deutschland GmbH
Technical Information Center
Schatzbogen 7
81829 Muenchen, Germany
+44 1296 380 456 (English)
+46 8 52200080 (English)
+49 89 92103 559 (German)
+33 1 69 35 48 48 (French)
support@freescale.com

Japan:

Freescale Semiconductor Japan Ltd.
Headquarters
ARCO Tower 15F
1-8-1, Shimo-Meguro, Meguro-ku,
Tokyo 153-0064
Japan
0120 191014 or +81 3 5437 9125
support.japan@freescale.com

Asia/Pacific:

Freescale Semiconductor Hong Kong Ltd.
Technical Information Center
2 Dai King Street
Tai Po Industrial Estate
Tai Po, N.T., Hong Kong
+800 2666 8080
support.asia@freescale.com

For Literature Requests Only:

Freescale Semiconductor Literature Distribution Center
P.O. Box 5405
Denver, Colorado 80217
1-800-441-2447 or 303-675-2140
Fax: 303-675-2150
LDCForFreescaleSemiconductor@hibbertgroup.com

フリースケール製品の RoHS 準拠 / Pb フリー版は、対応する非 RoHS 準拠 / 非 Pb フリー版と同じ機能と電気的特性を持っています。詳細については、<http://www.freescale.com> の Web サイトをご覧ください。フリースケール製品の販売店にお尋ねください。

フリースケールの環境製品プログラムの詳細については、<http://www.freescale.com/epd> の Web サイトをご覧ください。

本書に記載された情報は、システムおよびソフトウェア開発者がモトローラ製品を使用できるよう補助することのみを目的としています。本書に記載された情報に基づく集積回路の設計 / 製造に関する明示的または暗黙のライセンスを許諾するものではありません。

当社は、本書に記載した製品について、信頼性、機能または設計を改善するために予告なく変更を加える権限を保有しています。当社はここに記載した製品、回路の適用、使用に起因するいかなる責務をも負うものではなく、また、当社の特許権または第三者の権利に基づくライセンスを許諾するものではありません。仕様として記述される「標準 (Typical)」パラメータは各用途において変化する場合があります、実際の性能は長期間で変動する可能性があります。「標準」パラメータを含むすべての動作パラメータは、利用者側で技術担当者が使用環境に応じて適切な値に設定することが求められます。当社の製品は、外科的に人体に移植することを意図したシステムの構成部品として、または、他の生命維持を意図した用途に、または、当社の製品の不具合により人体に危害を加えたり死に至らしめるかもしれない状況が発生するような用途に使用するために、設計、意図または認可されているものではありません。購入者が万一このような意図または認可されていない用途のために当社の製品を購入あるいは使用する場合、購入者は、当社およびその役員、従業員、子会社、関連会社、代理店に対し、直接または間接を問わず、当該使用に関連した傷害や死についてのすべての申し立て (たとえ、当社が部品の設計や製造において不注意であったという主張であったとしても) から生ずるすべての請求、費用、損害、および相当の弁護士費用を補償し、被害が及ばないものとするものとします。

Freescale および Freescale のロゴマークは、フリースケール社の商標です。文中に記載されている他社の製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標です。

© Freescale Semiconductor, Inc. 2006. All rights reserved.